

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

RPPC に関連する発表は特にごさいません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

特になし

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾関係の 29 年度概算要求に 2 8 4 9 億円（国交省）
2. 29 年度港湾新規制度に農水産物輸出関連基盤整備
3. 国交省港湾局、29 年度税制改正 5 項目要望（延長、拡充）

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾関係の 29 年度概算要求に 2 8 4 9 億円（国交省）

国土交通省港湾局は 29 年度港湾関係予算概算要求として国費 2 8 4 9 億円（対前年度比 1・16 倍）を財務省に提出した。国際コンテナ戦略港湾政策の深化・加速に向けた取組み（国費 8 6 6 億円）を推進するほか、クルーズ船の受入環境整備（1 3 7 億円）等を重点化している。このほか、東日本大震災からの復旧・復興、地域の基幹産業の競争力強化に向けた港湾整備、防災・減災対策等を推進する。

公共事業分の予算は、港湾整備事業が 2 6 8 7 億円（対前年度比 1・16 倍）、港湾海岸事業が 1 1 4 億円（1・17 倍）、災害復旧事業等 13 億円（1・00 倍）、の合計 2 8 1 4 億円となっている。また非公共事業は、国際戦略港湾競争力強化対策事業等 25 億円（1・33 倍）、行政経費 10 億円（1・08 倍）の合計 35 億円を計上。このほか復興庁計上分として、東日本大震災からの復旧に 2 3 2 億円（0・84 倍）、復興に 3 6 1 億円（1・11 倍）を配分している。

【港湾空港タイムス】

-----

2. 29 年度港湾新規制度に農水産物輸出関連基盤整備

国土交通省港湾局は 29 年度概算要求の新規制度として、「港湾における農水産物輸出促進基盤整備事業（仮称）」を要望している。

「港湾における農水産物輸出促進基盤事業」は、新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、同輸出に戦略的に取組む港湾において、輸出コンテナの物流効率化に資する基盤整備を重点的に支援する。輸出効率化のイメージとしては、複数の近隣漁港等の水産物（小口貨物）を、輸出拠点となる港湾に集約する。この輸出拠点港湾において、集約促進を図るため、「小口貨物積替円滑化支援施設（コンテナターミナルの一体的に機能するリーファーコンテナ電源供給設備を含む）」を整備することとし、同取組みに支援措置を講じる方針。

港湾管理者、自治体、農水産業者、流通加工業者等が協議会を設立し、この中で「輸出戦略計画（仮称）」を策定してもらい、同計画に基づき、基盤整備を支援する予定。

【港湾空港タイムス】

3. 国交省港湾局、29年度税制改正5項目要望（延長、拡充）

国土交通省港湾局関連の平成29年度税制改正に5政策を要望している。いずれも延長または延長・拡充。

5項目は①国際戦略港湾及び国際拠点港湾の港湾運営会社が取得した荷さばき施設等に係る課税標準の特例措置（延長）、②資源・エネルギー等の海上輸送ネットワークの拠点となる埠頭において整備される荷さばき施設等に係る課税標準の特例措置（延長）、③港湾の整備、維持管理及び防災対策等に係る作業船の買換特例（延長）、④中小企業投資促進税制（延長・拡充）、⑤試験研究を行った場合の法人税額等の特別控除（延長・拡充）

【港湾空港タイムス】

発行所：RPPC 広報部会  
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）  
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）  
木村 竜也 東京都  
梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター  
紫牟田 和隆 光和精鉱（株）  
新谷 聡 りんかい日産建設（株）  
リサイクルポート推進協議会 事務局  
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、苮木  
URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。